

平成29年度加賀市健康福祉審議会
高齢者分科会第3回会議録

日 時：平成29年10月26日（木）

午後1時00分～3時00分

場 所：加賀市市民会館

第2会議室

議題

1. 将来人口・要介護認定者数の推計等について
2. お達者プランの策定状況について
 - (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について
 - (2) 在宅介護実態調査の結果について
3. 高齢者お達者プランの施策体系について
4. サテライト型小規模多機能型居宅介護の整備方針について
5. 地域包括支援センターのあり方について

閉会

【北七長寿課長】

(あいさつ)

【高川健康福祉部長】

(あいさつ)

【事務局】

本日は澤田委員が欠席と聞いています。他の委員については遅れて、到達するかと思います。

条例規定により、会議の議長については分科会会長が行うこととなっております。南野会長、お願いいたします。

【南野会長】

みなさん、ご苦労さまです。こんにちは。委員のみなさま方にはご多忙中のところ、ご出席を賜り、ありがとうございます。本日も分科会の議事の進行にご協力を賜りますよう、よろしくお願ひしたいと思ひます。委員のみなさま方には慎重なご審議をお願ひしたいと思ひておひます。よろしくお願ひいたします。

それでは本日の議題及び予定時間を申し上げます。

「1. 将来人口・要介護認定者数の推計等について」15分、「2. お達者プランの策定状況について」の2件を30分、「3. 高齢者お達者プランの施策体系について」15分、

「4. サテライト型小規模多機能型居宅介護の整備方針について」20分、「5. 地域包括支援センターのあり方について」20分を見込んでおります。

終了予定時間は質疑応答を含めまして、午後3時頃を目処に会議を進めたいと思います。長時間にわたる会議となりますが、慎重なご意見をお願いしたいと思います。

それでは次第に沿って進めてまいります。

議題1. 将来人口・要介護認定者数の推計等について

【南野会長】

議題1「将来人口・要介護認定者数の推計等について」、事務局より報告をお願いします。

【事務局】

資料1「将来人口・要介護認定者数の推計等について」説明

【南野会長】

説明、ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問等はございますか。あれば、挙手をお願いします。

質問がないようですので、次の議題に移りたいと思います。

議題2. お達者プランの策定状況について

【南野会長】

それでは次に議題2「お達者プランの策定状況について」の「(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について」、事務局より報告をお願いします。

【事務局】

【資料2-1】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について説明

【南野会長】

説明、ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問等はございますか。

質問はありませんか。

それではないようですので次に移りたいと思います。

議題2の「(2) 在宅介護実態調査の結果について」、事務局より報告をお願いします。

【事務局】

【資料 2 - 2】在宅介護実態調査の結果について説明

【南野会長】

説明、ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問等はございませんか。

質問がないようですので次に移ります。

【河嶋委員】

ありがとうございました。就労状況別職場における働き方の調整のところとまとめのところの3仕事と介護の両立に向け、職場における支援・サービスの検討とあります。これは具体的な案、職場に入っていくということは非常にむずかしいかと思えます。たとえば、どのようなことを考えているのかということがあれば、教えていただきたいと思えます。

【事務局】

まだ具体的にということはありませんが、職場というところでは介護の事業所あるいは商工等の管理者の方々の団体等もあります。このような実態等を伝えながら、加賀市の介護者の方々がこのような調整をしながら、働いているところを周知していくことがまずは大事かと感じています。

【河嶋委員】

ありがとうございます。職場のところまで浸透することは非常にむずかしいかと思えます。その中で見ていくと、介護のために休暇を取りながら働いている、労働時間を調整しているということがあります。そのようなことが職場の中で上手に取りやすいような仕組み、働きかけをしていただけるとよろしいかと思えます。そのあたりもよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【南野会長】

ありがとうございました。よろしいでしょうか。他に質問はありませんか。

それではないようですので次に移ります。

議題 3 高齢者お達者プランの施策体系について

【南野会長】

議題 3 の「高齢者お達者プランの施策体系について」、事務局より報告をお願いします。

【事務局】

【資料 3】高齢者お達者プランの施策体系について説明

【南野会長】

説明、ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご意見、ご質問等はありませんか。

【河嶋委員】

ありがとうございます。今度の第7期の策定について、最後の方に本人が「したいこと」を支援する仕組みづくりと書かれています。先ほどのニーズ調査のところでは本人がしたいことを参加する場合はとありました。自分が企画、運営の場合は少なくなっていたと思います。そのあたりでしたいことを支援する仕組みづくりが健康づくりや介護予防の推進、多様な活動機会の充実のあたりを少し考えていただき、みんなが参加できやすいようなものが少しあると、みなさんが自分の中でこれに参加したい、これに参加したいという言葉が出てくると思います。これを引き継ぐことはよいことだと思いますが、これにプラスアルファのものが少しあるとよろしいかと思えます。そのあたりの検討もお願いできればと思います。

【事務局】

ありがとうございました。ご意見を賜りましたので検討させていただきます。

【南野会長】

よろしいでしょうか。他には何かありませんか。
ないようでしたら、次に移ります。

議題4 サテライト型小規模多機能型居宅介護の整備方針について

【南野会長】

議題4の「サテライト型小規模多機能型居宅介護の整備方針について」、事務局より報告をお願いします。

【事務局】

【資料4】 サテライト型小規模多機能型居宅介護の整備方針について説明

【南野会長】

説明、ありがとうございました。

ここで欠席委員から事前に質問があったようですので事務局から紹介をお願いして、その回答の説明をお願いしたいと思います。

【鈴木委員】 事務局が代理

1つ目は第7期お達者プラン策定にあたり、現時点ですでに供給過多、あるいは稼働率が低い事業所について、将来を見据えた具体的な施策を盛り込んだものにしていただきたいです。

【事務局】 事務局回答

こちらについては次回、少しお示しをしたいと考えています。

【鈴木委員】 事務局が代理

2つ目は資料4の3ページ下段、今後の検討事項について、基本事業所の他のサービスからの切り出しについて、具体的な提案を次回以降にお示しをしていただきたいです。

【事務局】 事務局回答

こちらについてはあくまでも今は検討ですとお示したため、曖昧なところもあるかと思えます。もう少し分かりやすいかたちでお示しできればと考えています。

いただいた質問については回答も含めて、以上になります。

【南野会長】

ありがとうございました。

ご回答をいただきましたが、その他、報告について、何かご意見やご質問等はありませんか。

【中野委員】

2ページ目の既存事業所からサテライト型への転換については平成30年4月以降と明記されています。3ページ目の新設の公募と今後の検討事項については時期的に同じように平成30年4月以降の考えでしょうか。それとも既存事業所からサテライト型への転換を優先しますという考え方でしょうか。これだと読み込めません。どのように理解すれば、よろしいでしょうか。

【事務局】

1つは既存事業所からサテライト型への転換の時期がはっきりとしていないことについて、事業所側、今、行っている事業所を転換することになります。その協議を随時、取り付けるかたちになろうかと思えます。

新設、今後については次回以降の整備計画の中でお示しすることになります。その年度に1つ等、そのようなかたちでのお示しになると思えます。

【中野委員】

7期の間でこれまでと同じように何年度にいくつ等のような示し方という理解でよろしかったでしょうか。

【事務局】

そうです。

【中野委員】

1点、既存のところからの兼務、サテライト型にすることは管理者等の人員については兼務可能となっています。新設の場合はサテライト型で応募した場合も1年間は専従かつ常勤勤務者を配置するということは厳しいのではないのでしょうか。サテライト化したい理由のところは人員の有効活用だと思えば、そこの縛りを1年とかけたとしてもそこが厳しいのではないのでしょうか。柔軟に対応できるあり方をもう少し条件面として考えた方がよろしいかと思えます。

【事務局】

検討させていただきます。

【松本委員】

むずかしい、カタカナ文字が出ています。サテライトというものについて、今ひとつ、理解できません。サテライトについて、まずは教えてください。

【事務局】

サテライトというと普通、衛星等になります。本体があり、そこから少し離れた場所に拠点、支店を出し、そちらと人材を共有しながら、2か所の事業所があるように見えますが、人材は共有していて、効率よく、2か所の事業所を動かすことができるような仕組みです。本体と離れた方をサテライトと言っています。

【松本委員】

このように理解すれば、よろしいのでしょうか。たとえば本店、支店の考え方、それから前のときにもこころまちセンターの問題について、ブランチという言葉が出てきました。私もはじめは理解するのに苦労しました。それと同じような考え方、こころまちセンターの本体が市にあり、ブランチを今、現在、建てていると思います。そのように考えれば、よろしいのでしょうか。

先ほどの質問にも入ってくると思いますが、3ページの下段にサテライト型として応募した場合でもと書かれています。サテライトを設置するというだけで応募できるのでしょうか。先ほどの説明の本店、支店の考えだと、支店は応募すればできると理解すれば、よろしいのでしょうか。そのあたりがはっきりと分かりません。

【事務局】

2点いただきました。

1つ目、ブランチとの違いについて、支店や出張所のような意味では機能が分散していて、身近なところに機能があります。そのような意味では同じようなところもありますが、ブランチは機能の分散です。サテライトについては事業所の建物、そのようなものの分散になります。身近なところにその建物の整備を進める方法として、あまり人手のかからない、本体と共有できるようなかたちでつくっていくことができます。少し、建物と人の配置に寄っているところがあります。少し、意味合い等が違うかと思います。

もう1つ、サテライトでの応募について、もしサテライトで応募する場合にはその事業所の関係で、本体を1つ選んでいただき、そのサテライトとして、応募いただくかたちになります。

【松本委員】

ありがとうございました。

【南野会長】

質問はこれでよろしかったでしょうか。

それでは次に移ってもよろしいでしょうか。

議題5. 地域包括支援センターのあり方について

【南野会長】

それでは次に、議題5の「地域包括支援センターのあり方について」、事務局より報告をお願いします。

【事務局】

【資料5】 地域包括支援センターのあり方について説明

【南野会長】

説明、ありがとうございました。

ここで欠席委員からの事前の質問があるようですので事務局から紹介とコメントの説明をお願いしたいと思います。

【鈴木委員】 事務局が代理

加賀市における将来的な地域包括支援センターへの基幹型とブランチのあり方（民間への完全移行の考え方）とそのタイムスケジュールがあれば、お示してください。また、ないようであれば、今後の可能性について、お聞かせください。

【事務局】 事務局回答

こちらについては今まで包括は市町村が設置主体のところがあります。今まで直営で

行ってきた機能と成果もふまえて、第7期中に検討していきたいと思っています。次回以降、少し意向や方向性を示したいと思っています。

【本間委員】

今の質問に対してのお答えでしょうか。そうすると市としての包括の委託を検討しているというベースがあるということでしょうか。

【事務局】

将来的には委託に関して、検討は続けています。ただ、この6期においてはランチということで相談機能を委託させていただき、基幹型として残して、運営していく方向に舵を切らしていただき、今、7期についても方針は計画、実施途中です。ただ、ランチは委託自体が正直はじめてのことです。6期になるときに委託についての方針を決めさせていただきましたが、その内容についてもPDCAサイクルの中でのチェック、アクションの中で検討を進めていく主旨です。6期以降は基幹型ができますと決定させていただきました。これをずっと続けるかどうかはチェックや見直しをしていくべきだということでの検討です。おそらく、この質問は基本的に委託ありきで検討を進めているのかというご指摘かと思います。私共はそれも全て含めて、見直しは常に行います。そのような意味合いです。今の段階では委託すると決定しているものではありませんので誤解のないようにお願いいたします。

【南野会長】

鈴木先生が今、お見えになりました。先生の質問については今、発表されました。その他にありますか。

【鈴木委員】

大丈夫です。

【南野会長】

今、鈴木先生がお見えになり、鈴木先生の質問に対しても事務局からの回答がありました。

その他に何か、ここについてのご意見やご質問等はありませんか。

それでは本日の議題は以上となります。時間もありませんが、今後の分科会の運営等、議題以外のことで特にご発言があれば、受けたいと思います。何か、今後についてのさまざまなことでご発言があれば、お願いしたいと思います。

【本間委員】

今後、包括支援センターの居宅等の議論の際に各市町村が市直営などの方法を取っているかと思います。それと認定率の関係、そのようなものがより具体的に分かるようなもの

のが今後、出てくると、1つの基礎資料としては分かりやすくなってくると思われました。
1つの提案です。

【事務局】

次回、何か提示させていただきたいと思います。

【南野会長】

ありがとうございます。他にはありませんか。よろしいでしょうか。
事務局より報告事項がありますのでよろしく願いいたします。

【事務局】

次回以降の高齢者分科会の予定について説明

【南野会長】

ありがとうございました。議事進行にご協力賜り厚くお礼申し上げます。
これで高齢者分科会を終了します。ありがとうございました。

(閉会)